

# 水稻の7月下旬の巡回調査結果の概要

【東北信】 調査日 7月22日、23日、25日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信17ほ場、計32ほ場＞

## 1 葉いもち

(1) 7月上旬の巡回調査では、調査ほ場での発生は確認されなかったが、7月上旬巡回調査以降に発病株が急増し、発生地点率は東信地域が100%、北信地域が82.4%と平年と比べ高かった。

(2) また、発病株率は平年と比べかなり高かった。



図1 イネいもち病（葉いもち）（北信地域）

## 2 紋枯病

(1) 東信地域2ほ場、北信地域2ほ場で発病が確認された。

(2) 発病株率は、平年と比べ東信地域は高く、北信地域は平年並であった。

## 3 白葉枯病・黄化萎縮病・黄萎病

巡回調査ほ場では、発生は確認されなかった。

## 4 ばか苗病

(1) 巡回調査ほ場では、発生は確認されなかった。

(2) ただし、一部巡回調査ほ場以外で確認された。

## 5 ニカメイガ

(1) 東信地域3ほ場で被害株が確認され、発生地点率は平年に比べやや高かった。

(2) 北信地域の巡回調査ほ場では、被害株は確認されなかった。



図2 イネばか病（北信地域）



図3 ニカメイガの幼虫による芯枯れ（東信地域）

## 6 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカは、すくい取り調査（ネット20回振：以下同一）で、東信地域13ほ場、北信地域の15ほ場で捕獲され、成虫の発生地点率は両地域とも高かった。成虫の平均捕獲頭数は、東信地域は平年に比べ高かったが、北信地域は低かった。

(2)ツマグロヨコバイは、東信地域、北信地域ともに成虫の発生地点率は平年に比べ低く、成虫の平均捕獲頭数は、少なかった。

(3)セジロウンカ、トビイロウンカは捕獲されなかった。

#### 7 斑点米カメムシ類

(1)すくい取り調査では、東信地域2ほ場、北信地域2ほ場で捕獲され平均捕獲頭数は平年並であり、種類はアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、トゲシラホシカメムシであった。

(2)斑点米カメムシ類の発生地点率は、平年値を上回ったものの発生の多いほ場はみられなかった。

#### 8 その他

(1)イナゴは、すくい取り調査で東信地域7ほ場、北信地域9ほ場で捕獲されたが、平均捕獲頭数は平年と比べ少なかった。

(2)クサキリ・ササキリ類は、すくい取り調査で東信地域15ほ場、北信地域15ほ場で捕獲されたが、平均捕獲頭数は、両地域ともに平年と比べ少なかった。

(3)フタオビコヤガ（イネアオムシ）は、すくい取り調査で東信地域2ほ場、北信地域2ほ場で捕獲されたが、平均捕獲数頭数は平年と比べ少なかった。また、発生地点率は、平年と比べ低かった。

**【中南信】** 調査日 7月22日、23日、25日、26日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信18ほ場、中信20ほ場、計38ほ場＞

#### 1 葉いもち

南信地域の4ほ場、中信地域の3ほ場で発病が確認された。

#### 2 紋枯病

南信地域の1ほ場、中信地域の1ほ場で発病が確認された(図5)。

#### 3 白葉枯病・黄化萎縮病・黄萎病

巡回調査ほ場では、発生は確認されなかった。

#### 4 ばか苗病

中信地域の1ほ場で発病が確認された。

#### 5 ニカメイガ

巡回調査ほ場では、被害株は確認されなかった。

#### 6 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1)ヒメトビウンカは、すくい取り調査(ネット20回振：以下同一)で、南信地域の9ほ場、中信地域の16ほ場で捕獲された。成虫の平均捕獲頭数は、南信地域では平年より多く、中信地域では平年より少なかった。成虫の発生地点率は、南信地域では平年より多く、中信地域では平年並みだった。

(2)ツマグロヨコバイは、南信地域の1ほ場、中信地域の1ほ場で確認された。全般に捕獲頭数は少なかった。

(3)セジロウンカは、南信地域の2ほ場、中信地域の8ほ場で確認された。松本管内では平年



図5 紋枯病(中信地域)

に比べて成虫の捕獲頭数が多かった。

(4) トビイロウンカは捕獲されなかった。

#### 7 斑点米カメムシ類

(1) すくい取り調査で、南信地域の10ほ場、中信地域の7ほ場で捕獲され、種類はホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメであった。特にホソハリカメムシの発生が目立った(図6)。

(2) 斑点米カメムシの平均捕獲頭数は南信地域では平年より多く(平年のおよそ4倍)、中信地域では平年並みであった。

発生地点率については、南信地域、中信地域ともに平年より高かった。

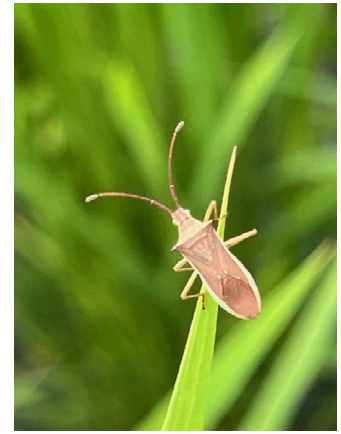


図6 ホソハリカメムシ(南信地域)

#### 8 その他

(1) すくい取り調査でイナゴは、20ほ場で捕獲された。成虫・幼虫の平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年より少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類は、28ほ場で捕獲され、平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年並みであった。

#### 問合せ先

担当(東北信): 藤沢

TEL: 026(248)6471 Eメール: bojo@pref.nagano.lg.jp

担当(中南信): 内田

TEL: 0263(53)5642 Eメール: bojo-y@pref.nagano.lg.jp